

玉野少年少女合唱団

「自慢の歌声、コケ」「聞かせてあげようか、コケ」「はい、ピヨン」。ニワトリやウサギになりきった団員の元気な掛け合いが響く。

玉原市民センターを拠点に活動する玉野少年少女合唱団は「歌っておどる」がモットー。夏休みに入り、県少年少女合唱連盟演奏会水島大会（8月25日・倉敷市）で初演する創作ステージ「ブラックパンサーとの邂逅」の練習に熱が入る。

主役の一人、「あや」役の日比小6年相浦彩乃さん(11)は「せりふを覚えるのは大変だけど、みんなで練習している歌うのは楽しい」と声を弾ませる。

1977年に玉原少年少女合唱



県少年少女合唱連盟演奏会に向けて創作ステージの練習に励む玉野少年少女合唱団

来月初演 創作ステージ練習に熱

団として発足した。市内唯一の少年少女合唱団とあって、毎年定期演奏会のほか福祉施設などでの依頼演奏も多い。

現団員は小学2年から高校3年までの男女26人で、過去にはNHKアナウンサーの井上あさひさん、元劇団四季団員の合田友紀さんらも在籍していた。

統括リーダーの玉野高1年溝内あす見さん(16)は「歌うだけでなく踊り、礼儀など学べることは多く、学校や年齢を超えて友達も広がる」と魅力を話す。

団員は随時募集している。練習は毎週土曜午後2時半～5時半。問い合わせは指導者の川上大和さん(090-5694-0456)。(松山定道)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。